

平成20年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成19年 7 月19日

上 場 会 社 名 株式会社ヒューネット 上場取引所 J Q
 コ ー ド 番 号 8836 U R L http://www.hunet.com
 代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 兵頭 利広
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 河村 宗芳 T E L (0 3) 5 2 0 4 - 3 1 6 1

第 1 四半期連結財務諸表は、平成20年 3 月期より作成しているため、平成19年 3 月期第 1 四半期及び対前年同四半期増減率等については記載しておりません。

(百万円未満切捨て)

1 . 平成20年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成19年 4 月 1 日 ~ 平成19年 6 月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期 (当期) 純 利 益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年 3 月期第 1 四半期	9,344 -	260 -	205 -	571 -
19年 3 月期第 1 四半期	- -	- -	- -	- -
19年 3 月期	17,885 -	7,236 -	9,071 -	37,404 -

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益
	円 銭	円 銭
20年 3 月期第 1 四半期	1 23	- -
19年 3 月期第 1 四半期	- -	- -
19年 3 月期	170 09	- -

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年 3 月期第 1 四半期	20,966	4,026	19.2	8 58
19年 3 月期第 1 四半期	-	-	-	- -
19年 3 月期	43,396	2,099	4.8	5 06

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年 3 月期第 1 四半期	21,607	106	21,405	1,076
19年 3 月期第 1 四半期	-	-	-	-
19年 3 月期	35,593	1,561	33,720	981

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日)

平成20年3月期の業績はほぼ予定通りに推移しており、平成19年5月7日発表の業績予想に変更はありません。

3. その他

- | | |
|---|-----|
| (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) | : 無 |
| (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 | : 無 |
| (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 | : 無 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1．連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格の動向等の懸念材料があったものの、企業収益の改善による好調な設備投資及び雇用環境の改善等に加えて、個人消費も堅調に推移し、順調な回復基調を維持しました。

不動産市場については、オフィスビルの旺盛な需要もあり、空室率の低下に伴う賃料水準の上昇傾向、また新築マンションの販売価格の上昇傾向等に加え、不動産投資ファンドの伸長もあり、不動産市場は順調に拡大してまいりました。

このような状況の下、今期より本業である不動産事業に集中できる態勢が整い、当第1四半期については、主に前連結会計年度から繰越した不動産商品物件の販売に注力いたしました。渋谷区宇田川及び神宮前の商業施設等の売却、神戸支店における戸建分譲等が予定通り推移するとともに、保有物件の賃貸収益も安定的に寄与したことなどから、営業利益では260百万円の黒字を確保いたしました。また、営業活動によるキャッシュ・フローにつきましても、手持ちたな卸資産が減少したことから21,607百万円の黒字となりました。

営業外収支につきましては、投資有価証券売却益23百万円等を収益計上するとともに、有利子負債の縮減に尽力し、前連結会計年度末に比べて有利子負債を22,757百万円圧縮させましたが、当第1四半期中は金利負担が大きかったこと等により、経常損益は赤字となりました。

また、連結子会社である特別目的会社保有の開発型不動産案件について売買契約が合意解除に至り、これに伴う損害補填金収入があったため、特別利益781百万円が計上されました。

以上の結果、当第1四半期の業績は、売上高9,344百万円、営業利益260百万円、経常損失205百万円、四半期純利益は571百万円となりました。

2．連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、20,966百万円となり、前連結会計年度末に比べて22,430百万円減少しました。これは主に流動資産の22,391百万円減少によるものであり、保有販売用不動産の売却及び契約合意解除等によりたな卸資産が22,134百万円減少したことが主な要因です。

総負債は、16,940百万円となり、前連結会計年度末に比べて24,357百万円減少しました。これは主に流動負債の23,134百万円減少によるものであり、保有販売用不動産の売却等に伴い短期借入金が22,627百万円減少したことが主な要因です。

純資産は、4,026百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,926百万円増加しました。これは、当第1四半期純利益571百万円の計上、及び新株予約権の行使に伴う1,371百万円の新株発行を行ったこと等が主な要因です。

3. (要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期末 〔平成19年3月期 第1四半期末〕	当四半期末 〔平成20年3月期 第1四半期末〕	増 減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	-	1,304	-	-	1,130
受取手形及び売掛金	-	6	-	-	9
たな卸資産	-	14,289	-	-	36,423
その他	-	1,127	-	-	1,557
貸倒引当金	-	10	-	-	11
流動資産合計	-	16,716	-	-	39,108
固定資産					
有形固定資産	-	2,418	-	-	2,433
無形固定資産	-	572	-	-	587
投資その他の資産	-	1,258	-	-	1,266
固定資産合計	-	4,249	-	-	4,287
資産合計	-	20,966	-	-	43,396
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び買掛金	-	499	-	-	1,102
短期借入金	-	7,249	-	-	29,877
1年以内返済予定 長期借入金	-	2,724	-	-	1,609
その他	-	1,066	-	-	2,087
流動負債合計	-	11,541	-	-	34,676
固定負債					
長期借入金	-	3,724	-	-	4,970
その他	-	1,674	-	-	1,651
固定負債合計	-	5,399	-	-	6,621
負債合計	-	16,940	-	-	41,297

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期末 〔平成19年3月期 第1四半期末〕	当四半期末 〔平成20年3月期 第1四半期末〕	増 減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(純資産の部)					
株主資本					
資本金	-	25,097	-	-	24,411
資本剰余金	-	16,769	-	-	16,084
利益剰余金	-	37,244	-	-	37,815
自己株式	-	600	-	-	600
株主資本合計	-	4,022	-	-	2,079
評価・換算差額等					
その他有価証券 評価差額金	-	0	-	-	14
評価・換算差額等合計	-	0	-	-	14
新株予約権	-	3	-	-	5
純資産合計	-	4,026	-	-	2,099
負債、純資産合計	-	20,966	-	-	43,396

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位: 百万円、%)

科 目	前年同四半期 平成19年3月期 第1四半期	当四半期 平成20年3月期 第1四半期	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	-	9,344	-	-	17,885
売上原価	-	8,517	-	-	19,085
売上総利益(総損失)	-	827	-	-	1,200
販売費及び一般管理費	-	566	-	-	6,036
営業利益(損失)	-	260	-	-	7,236
営業外収益	-	47	-	-	412
営業外費用	-	513	-	-	2,246
経常利益(損失)	-	205	-	-	9,071
特別利益	-	781	-	-	-
特別損失	-	3	-	-	26,771
税金等調整前四半期(当期)純利益(純損失)	-	572	-	-	35,842
税金費用	-	0	-	-	1,563
少数株主利益(損失)	-	-	-	-	1
四半期(当期)純利益(純損失)	-	571	-	-	37,404

(3) (要約) 連結株主資本等変動計算書

前四半期(平成19年3月期 第1四半期)

第1四半期連結財務諸表は、平成20年3月期より作成しているため、平成19年3月期第1四半期については記載しておりません。

当四半期(平成20年3月期 第1四半期)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等		新 株 予約権	少数 株主 持分	純資産 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自己 株式	株主資 本合計	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額 等合計			
前期末残高	24,411	16,084	37,815	600	2,079	14	14	5	-	2,099
当期の変動額										
新株の発行	685	685			1,371					1,371
剰余金の配当										
当期純利益			571		571					571
自己株式の取得										
株主資本以外の 項目の変動額						14	14	1		15
当期の変動額合計	685	685	571		1,942	14	14	1		1,926
当期末残高	25,097	16,769	37,244	600	4,022	0	0	3	-	4,026

(参考) 前連結会計年度(平成19年3月期)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等		新 株 予約権	少数 株主 持分	純資産 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自己 株式	株主資 本合計	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額 等合計			
前期末残高	20,393	12,066	277	599	32,138	24	24	-	1	32,164
当期の変動額										
新株の発行	4,017	4,017			8,034					8,034
剰余金の配当			687		687					687
当期純利益			37,404		37,404					37,404
自己株式の取得				1	1					1
株主資本以外の 項目の変動額						10	10	5	1	6
当期の変動額合計	4,017	4,017	38,092	1	30,059	10	10	5	1	30,065
当期末残高	24,411	16,084	37,815	600	2,079	14	14	5	-	2,099

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	〔 前年同四半期 平成19年3月期 第1四半期 〕	〔 当四半期 平成20年3月期 第1四半期 〕	(参考) 前期 (平成19年3月期)
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益 (純損失)	-	572	35,842
減価償却費	-	15	29
のれん償却額	-	14	20
受取利息及び受取配当金	-	2	18
支払利息	-	432	1,168
売上債権の減少額(増加額)	-	2	8,184
たな卸資産の減少額(増加額)	-	22,134	29,351
仕入債務の増加額(減少額)	-	785	998
その他	-	363	19,717
小 計	-	22,020	35,092
利息及び配当金の受取額	-	1	0
利息の支払額	-	414	442
法人税等の支払額	-	0	57
営業活動によるキャッシュ・フロー	-	21,607	35,593
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入れによる支出	-	94	136
定期預金の払戻しによる収入	-	25	18
投資有価証券の取得による支出	-	2	1,327
投資有価証券の売却による収入	-	40	134
投資有価証券の払戻しによる収入	-	112	489
貸付による支出	-	188	381
貸付金の回収による収入	-	0	355
その他	-	0	713
投資活動によるキャッシュ・フロー	-	106	1,561
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額(減少額)	-	22,627	25,797
長期借入れによる収入	-	181	5,870
長期借入金の返済による支出	-	311	2,062
株式の発行による収入	-	1,352	4,946
配当金の支払額	-	0	683
その他	-	-	147
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	21,405	33,720
現金及び現金同等物の増加額(減少額)	-	94	3,434
現金及び現金同等物の期首残高	-	981	4,416
現金及び現金同等物の期末残高	-	1,076	981